

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島北小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり一定の定着が見られます。特に「書くこと」においては高い定着が見られます。集めた情報から引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができています。一方で「読むこと」については、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題が見られます。
- ・算数の平均正答率は全国よりやや低く課題が見られます。特に複合的な領域「数と計算」「図形」「データの活用」の問いとして、日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して、示された条件を基に調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述する問題の正答率が低かったです。一方で、概数を求める問題や百分率で表された割合と比較量から、基準量を求める問題など、知識・技能の観点を問う問題の正答率は高かったです。

算数においては、「記述式」の問題形式に課題が見られます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「学校に行くのは楽しいと思いますか」「朝食を毎日食べていますか」「先生は授業やテストで理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思いますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業以外に、普段どれくらい勉強をしていますか」「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」「新聞をどれくらい読んでいますか」などについて低い数値が見られました。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・国語においては、日常的に相手を意識しながら言語を使って自分の考えや思いを伝え合う場面を授業や活動に多く取り入れて、対話的で深い学びを目指すとともに、自分の考えがよりわかりやすく伝えられるような表現を工夫する力を育てます。
- ・算数においては、学習内容の確かな理解につなげるため具体的な操作活動を重視するとともに、自分の考えを言葉や数、式を用いて分かりやすく表現する場面を授業の中に多く取り入れていきます。式や言葉を効果的に使い説明する力を育成できるよう、今後も継続して指導していきます。
- ・新聞を活用した学習を計画的に取り入れ、新聞に触れる機会を増やしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・各学年の「家庭学習の手引き」や山梨県の「学びの甲斐善八か条」を活用して、励ましの言葉をかけていただき、基礎学力定着のためにも家庭学習の習慣化に御協力ください。
- ・朝食の摂取、睡眠時間の確保、家庭でニュースや新聞の話題提供などを通じて、児童の安定した生活習慣づくりを引き続きお願いします。